

## 岩手県における農地コーディネーターの活動状況

岩手県農業公社  
(花巻市湯本地域)

認定農業者数

546 経営体

農地面積

15,700 ha

主な農畜産物

米、果実、野菜、肉用牛、豚

## 農地バンクの関わりと農地コーディネーターの役割

## ○ 地域計画の策定に向けた姿勢

- 「人・農地プラン」作成に係る説明会などに積極参加し、集落の方の声を聞くとともに、農地中間管理事業の紹介を行う。
- 先行モデル地区においては、分散状態にある貸借農地の集約化を推進する会議や将来の集落営農ビジョン策定に向けた役員検討会にオブザーバーとして参加。  
⇒地域計画の策定に向けた機運醸成の一翼を担う。

## ○ 現場活動における工夫

- 地元の間人であること、農地バンクであることをアピールし、不審者と思われないように努め、円滑な話し合いを実現。
- 受け手農家へは親身になって対応し、機構契約の調整を行う。
- クレーム対応には本社・関係機関と協力し、適切な解決策を模索。  
⇒信頼関係を醸成し、農地の適切な利用促進、遊休農地の発生防止にも貢献する。

花巻市は宮沢賢治の故郷

雨ニモマケズ  
風ニモマケズ……  
下ノ畑ニ居リマス  
賢治

## 先行モデル地区「花巻市湯本地域」における取組事例

## ○ R3から農地集約化の取り組み本格化

機構を活用した農地集積に積極的に取り組み、農地面積1,425 haのうち中心経営体への集積率は70%を超えている。主な作目：水稻、小麦、大豆 他

## ○ 令和5年1月31日：第1回地域計画の話し合い

- より効率的な農作業を目標に農地集約化について活発な議論が行われた。
- 今後集約化を円滑に進めるためにも、「賃料の統一」に向け取り組んでいく。

## ○ 令和5年8月29日：第2回地域計画の話し合い

- 集積率80%以上の達成と円滑な集約化を目標に、賃料目安と目標地図案について検討。
- 今後の賃貸借では賃料を「約8,000円/10a」の範囲で行うこととした。
- 機構発足10年目を控え、契約更新を行わない予定の農地を目標地図案に記入し、遊休農地のおそれのある農地を明確化。
- 今後は、機構の大規模契約更新のタイミングに合わせて、農地交換や粗放的管理で遊休農地の発生を未然に防ぐことを確認。

